

## (2) 特定中山間保全整備事業及び農用地総合整備事業 ア 計画的で的確な事業の実施

### 要 旨

平成27年度は、1区域(泉州東部区域)の完了後の評価を実施し、3区域(郡山区域、安房南部区域、阿蘇小国郷区域)の完了後の評価に係る調査業務(社会経済情勢の変化等に関する基礎的資料の作成を含む。)を確実に実施した。

#### (1)－1 完了後の評価(泉州東部区域)

- ①関係市町村 大阪府堺市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、泉南市、泉南郡熊取町
- ②総事業費 297億円
- ③事業内容 区画整理82ha、客土5ha、農用地造成14ha、農業用道路13.7km

以下の評価結果を取りまとめ平成27年8月に公表した。

表 完了後の評価結果の概要

効果の発現状況	<p>泉州東部区域農用地総合整備事業は、狭小な既耕地の区画整理、水田・畑及び樹園地の混在地域の農用地造成、土壌の改善を図る客土並びに営農団地等を結ぶ農業用道路の整備を総合的に実施し、高生産性農業の確立や農産物の流通の迅速化を図ることにより、地域農業の活性化に資することを目的として実施されたものであり、以下の効果が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農用地整備により、高収益作物の作付拡大や機械利用が促進し、農業生産の維持・向上が図られた</li> <li>②農用地、農業用道路の整備により、周辺の農業関連施設や農産物直売所への出荷に係る労力が軽減された</li> <li>③農用地整備により、ドレッシングやジャム等に加工して農産物直売所で販売する6次産業化が進んでいる</li> <li>④農業用道路周辺の観光・市民農園や農業体験施設による都市農村交流が活発化した</li> </ul>
技術検討会の意見	<p>本事業により実施された農用地整備や農業用道路は、農業生産の安定化、高付加価値型農業の確立に寄与し、地域の活性化に資するものと評価できる。</p>



下村団地(区画整理)



農業用道路和泉工区



小川西団地  
(区画整理・農用地造成)

## (1)－2 技術検討会委員

表 平成27年度事後評価 技術検討会の委員

氏名	専門分野	所属等
浅野 耕太	環境経済	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授
安藤 光義	農業経済	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
飯田 俊彰	農業土木	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
久保 充己	地域農業	農事組合法人いずみの里 6次産業化担当 大阪府「農の匠」の会 副会長

## (2)－1 完了後の評価に係る調査業務(郡山区域、安房南部区域、阿蘇小国郷区域) 以下の調査を実施した。

表 完了後の評価に係る調査

項目	実施内容
① ヒアリング調査	事業による地域の変化を捉えるため、営農状況等を関係県、関係市町、JA、農家等へ聞き取り。
② アンケート調査	整備した農用地や農業用道路の利用状況、効果の発現状況等を把握するため受益者にアンケートを実施。
③ 作付調査	整備した農用地の作付け状況を調査(春と秋)。
④ 交通量調査	農業用道路の一般交通の通行量を把握するため、交通量調査を実施(平日、休日の2日間)。

## (2)－2 技術検討会委員の調整

表 平成28年度事後評価 技術検討会の委員

氏名	専門分野	所属等
浅野 耕太	環境経済	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授
飯田 俊彰	農業土木	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
橋本 禪	農村計画	東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授
【郡山】 岩崎 由美子	地域社会	福島大学 行政政策学類 教授
【安房南部】 須藤 陽子	地域農業	(株)須藤牧場 専務 (農林水産省獣医事審議会 委員)
【阿蘇小国郷】 穴見 まち子	地域振興	小国町議会 議員 小国町生活研究グループ 元会長

## 【事業完了後の状況】

### 1. 郡山区域

- ①関係市町村 福島県郡山市、田村郡三春町
- ②総事業費 96億1,600万円
- ③事業内容 区画整理64ha、暗渠排水105ha、客土3ha、農業用道路11.7km



丹伊田団地(区画整理)



農業用道路3工区

- 区画整理による区画の整形・拡大や、暗渠排水の実施により、農業機械による営農が効率化。
- 効率的に営農が行えることにより農作業受委託が可能となり耕作放棄防止に寄与。
- 整備後の水田を利用した、近隣の小学校による「田んぼの学校」(食農教育)の実施に貢献。
- 農業用道路の整備により、生産された農産物の運搬や農業機械の移動、農業資材の運搬が効率化。
- 事業の実施が、「農業体験」や神楽、歌舞伎といった「伝統文化」による都市住民との交流の継続に寄与。

### 2. 安房南部区域

- ①関係市町村 千葉県館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町
- ②総事業費 186億円
- ③事業内容 区画整理135ha、農業用道路11.4km



いちご農園(区画整理:大戸団地)



農業用道路3工区

- 区画整理により、狭小で不整形なほ場が整備され、耕作道や進入路が整備されることにより機械の利用が容易となり、ほ場作業が効率化。
- いちごやいちじくなどの観光農園の拡大・新設が見られるとともに、田植え体験など都市住民との交流が行われ、地域農業の活性化に寄与。
- 農業用道路の整備により、沿線及び終点地域からの花卉等の出荷について、トラック輸送の高速化・大型化に貢献。
- 地域住民の通院、市内への買い物、通勤など、日常生活の利便性の向上に貢献。

### 3. 阿蘇小国郷区域

- ①関係市町村 熊本県阿蘇郡南小国町、小国町
- ②総事業費 137億2,400万円
- ③事業内容 区画整理117ha、暗渠排水24ha、用排水路整備20km  
農林業用道路23.2km、林地転換1.2ha



万成団地(区画整理)



基幹農林業用道路

- 区画の整形・拡大が図られ効率的な機械作業が可能となり、営農労力が軽減。また、飼料用稲等の作付による粗飼料供給が進み耕畜連携に寄与。
- 集落営農組織が設立され、農地の集積や農作業の共同化が進展。
- 農業用道路により、大型車の通行が可能となり農産物の集出荷施設等への輸送時間や木材の運搬時間が短縮。また、農地や林地までの移動時間が短縮。
- 農業用道路の整備を契機に沿線の県営農地開発事業で造成した農地に企業が参入し、耕作放棄の防止に貢献。
- 農家にホームステイし農林業体験学習を行う等の都市農村交流が活発化。